

那須の歴史  
再発見!

# 那須町の 地域文化遺産

vol.6



「開拓」碑と鏡泊学園の碑

今回は、那須高原開拓と「開拓」碑などを紹介します。

那須高原開拓は、東京都の那須開拓事業に応募した旧満州開拓団員らを中心にソビエト抑留・朝鮮半島からの帰還者らが入植しました。

昭和23年秋、南ヶ丘牧場創設者・岡部勇雄ら先遣隊7名が那須に入植しました。先遣隊は那須御用邸の厩や下村養魚場の倉庫を宿舍として利用し冬を越え、本隊の到着を待ちました。翌年4月、本隊が到着し約40戸がそろると、一組（一軒茶屋）、二組（下村養魚場）、三組（守子）に別れ、本格的な開拓作業が始まりました。

入植地は標高600メートルの高冷地であり、火山灰土

壤や那須おろしの影響、冷害などから、作物が育つ環境ではありませんでした。そのため、栃木県の幹旋を受け那須からブラジルに渡る人もいたといえます。

作物が育たないため開拓民らは、篠竹を刈り現金収入を得たり、昭和20年代半ばには乳牛を導入し酪農を開始しました。集乳所は一軒茶屋や現在のファミリーマート（守子）の場所などにあり、牛乳を運んだといえます。しかし、高度経済成長に伴い那須が別荘地・観光地化していくと、酪農経営が厳しい環境となり、多くの開拓者らは酪農を離れ民宿やペンションなど宿泊業に経営を転換しました。

この那須高原開拓の流れをくむのが南ヶ丘牧場です。創設者・岡部勇雄は、昭和8年に鏡泊学園へ入学し満洲に渡りました。鏡泊学園は満洲国内で開拓民の技術的指導を行うエリート養成を目的とした学園ですが、翌年不幸にも学園は解散となりました。そのため岡部ら5名は興安北省の三河に移り、ロシア人農家に

住み込みながら畜産・酪農や農作業を学びました。これが、那須高原開拓にも活かされたといえます。

現在、南ヶ丘牧場には「開拓碑」と「鏡泊学園の碑」が存在し、またペロシキが販売されています。満洲と那須での開拓の繋がりを感じながらペロシキをほおぼるのも一興かもしれません。

▼問合せ 那須歴史探訪館  
☎74・7007



日本遺産構成文化財 南ヶ丘牧場

## かつこう

秋の訪れとともに、那須岳一帯が高い山頂付近から徐々に色づき始め、やがて麓へと紅葉前線が降りてくる様子は、まるで自然が織りなすグラデーションのようです。赤や黄、橙に染まった木々の美しさは、見る人の心を優しく包み込み、日々の忙しさを忘れさせてくれます。晴れた日には、青空とのコントラストがより一層鮮や

かで、カメラを手に登山道歩く人々の姿も多く見られます▼また、10月は爽やかな秋、芸術の秋、スポーツの秋など、さまざまな表情を持つ季節です。地域でもスポーツレクリエーションや文化祭、収穫祭といった行事が行われ、にぎわいを見せる頃です。久しぶりに顔を合わせる方との会話や、子どもたちの元気な声に、地域のつながりをあらためて感じる方も多いのではないのでしょうか。



◀那須町LINE公式アカウントはこちらから追加できます



◀那須町LINE公式アカウント友達登録後の流れはこちら

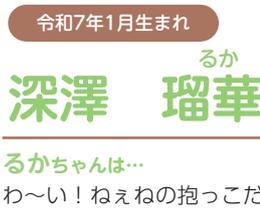
## こんにちは 赤ちゃん



令和6年4月生まれ

ほのか  
**三好 穂乃花ちゃん**

ほのかちゃんは…  
お姉ちゃん大好き！イタズラも大好き  
ヤンチャな女の子です。



令和7年1月生まれ

るか  
**深澤 瑠華ちゃん**

るかちゃんは…  
わ〜い！ねえねの抱っこ大好き！



「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。  
詳しくは企画政策課広報広聴係（☎72-6935）まで。

## 町の世帯と人口

(9月1日現在・住民基本台帳) ( )の数字は前月比

・世帯数	10,883 世帯 (± 0)	出生	4人 (- 3)
・人口	23,403人 (- 24)	死亡	23人 (- 2)
	男 11,675人 (- 15)	転入	66人 (- 36)
	女 11,728人 (- 9)	転出	72人 (- 27)
		その他	+1人